

おしゃまんべ 議会だより

2017年

平成29年5月

No.191



静狩小学校入学式

4月6日、新しいランドセルを背負った2名の新1年生が、少し緊張しながら元気に登校しました。入学式では、上級生のお兄さんお姉さんが、歓迎の歌を披露してくれました。

第1回定例会のあらまし	2
平成29年度当初予算を可決	3
町政を問う！4人の議員が一般質問 ..	4
まちづくり新幹線調査特別委員会視察調査報告書 ..	9
委員会活動	11

平成29年

第 1 回

定 例 会

平成29年第1回定例会は、3月9日から17日までの9日間の会期で開かれました。

【3月9日】

木幡町長から「将来の北海道新幹線長万部駅開業を見据え、本町が誇りと希望の持てるふるさととして、未来に向かい永続的に発展できるよう、町民のみなさんと英知を結集し、各種施策の実現に全力をあげ取り組む」と、町政執行方針が表明されました。

また、教育長からは教育行政の執行方針の大綱が述べられました。

その後、条例、補正予算などを審議し可決しました。

新年度予算は、議長を除く9名の委員で構成する予算審査特別委員会へ付託しました。

【3月14日】

一般質問に4人の議員が登壇し、町政に対しての所信を質しました。

【3月15日】

予算審査特別委員会が開催され、一般会計のほか7会計の予算について審査した結果、付託された議案すべてを可決すべきものと決定しました。

委員長 角 健

副委員長 北川 佳嗣

【3月17日】

新年度予算を採決した後、教育委員会教育長に近藤英隆氏を任命することに同意しました。

また、議員提出議案1件の審議、まちづくり新幹線調査特別委員会視察調査の報告などを行い、閉会しました。

条 例

- 個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 町税条例等の一部を改正する条例
- 奨学金条例の一部を改正する条例
- 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
- 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例
- ガス供給条例の一部を改正する条例

補正予算

- 平成28年度一般会計補正予算（第13号）
- 平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第5号）

同 意

- 平成28年度介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成28年度ガス事業会計補正予算（第2号）
- 平成28年度水道事業会計補正予算（第3号）
- 平成28年度病院事業会計補正予算（第3号）
- 教育委員会教育長の任命

そ の 他

- 新たに生じた土地の確認
- 字の区域の変更
- 所管事務調査及び閉会中の継続調査
- ※ 詳しい議案の内容は、4月号町広報に掲載されております。

一般会計

当初予算42億1,600万円

前年度対比6,000万円、1.4%の減

《予算編成の方針》

新年度予算編成にあたっては、財源確保や有効活用に努め、各種計画に則り、産業の振興、福祉、教育、観光のまちづくりなど、諸施策にわたり編成されています。

《一般会計の概要》

歳出の主な新規事業は、大型水槽付消防車の導入6000万円、役場庁舎ボイラー改修工事1230万円、新幹線を核としたまちづくり調査実証委託1225万円、国縫振興会館等建替設計委託950万円などです。

歳入では、町税収入を前年より約1億937万円増の6億3811万円、地方交付税を前年より1億円減の21億円と見込み計上しました。

平成29年度各会計の当初予算の比較

会 計 名		平成29年度	平成28年度	比 較	伸 び 率
一 般 会 計		42億1,600万円	42億7,600万円	▲6,000万円	▲1.4%
特 別 会 計	後期高齢者医療	9,786万2千円	1億58万6千円	▲272万4千円	▲2.7%
	国民健康保険	9億9,525万2千円	9億5,636万9千円	3,833万3千円	4.1%
	介護保険	7億5,046万1千円	7億3,011万円	2,035万1千円	2.8%
	公共下水道事業	3億3,350万円	3億1,245万円	2,105万円	6.7%
事 業 会 計	ガ ス	1億9,421万1千円	1億6,554万1千円	2,867万円	17.3%
	水 道	2億4,235万2千円	2億3,512万2千円	723万円	3.0%
	病 院	6億6,069万6千円	6億7,935万2千円	▲1,865万6千円	▲2.8%
計		74億9,033万4千円	74億5,553万円	3,480万4千円	0.5%

※公営企業会計は資本的会計等を含めて掲載しております。

町政を問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点をただし、所信の表明を求めることです。



長崎 厚 議員

自治体が養成する防災士を 5



柏倉恵里子 議員

認知症サポーターの育成を 6



大谷敏弥 議員

これまでの質問の進捗状況と対応は 7



高森功治 議員

長万部高等学校の将来像をどう考える 8

定例会2日目、4人の議員より一般質問が行われました。
その内容を要約してお知らせします。

※全文は町ホームページからご覧になれます。

[町ホームページトップ](#) → [町議会](#) → [会議録](#)

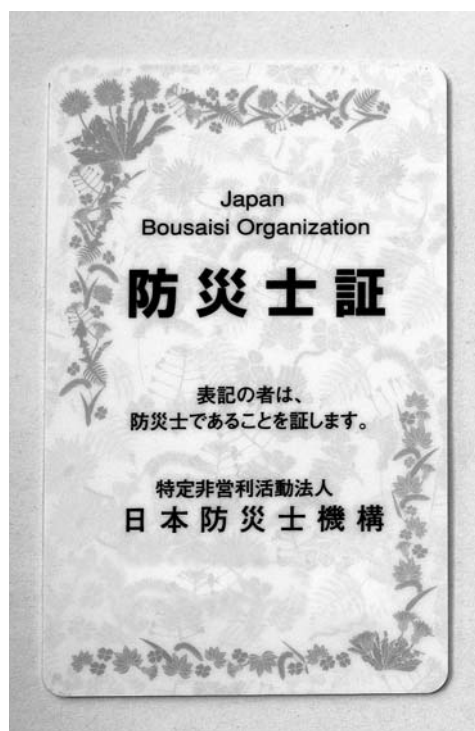
自治体が養成する防災士を

(町長) 資格取得に向けた気運づくりに努める

長崎 長万部町では全町規模で防災訓練が行われており、危機管理に対し強い認識があると思っ
ている。また、避難所に
退避時には「もれなく」
救助する事が求められる。
多くの自治体では地域防
災力向上に取り組みれて
おり、正しい認識を持っ
たリーダーが必要となる。
各地域に防災士を養成
することで、災害発生時
にはもちろん、訓練を通
じて地域防災力が向上す
る。公民館や学校施設な
ど町内で防災講演・指導
により効率よく防災士の
養成が可能になる。当町
でも検討してはどうか。

一方、道内においては、
防災の基本とされる「自
助・共助・公助」の適切
な役割分担を推進するた
め、北海道が事業主体と
なり「北海道地域防災マ
スター」の育成に取り組
んでいる。この防災マス
ターは、ボランティアに
よる地域の防災活動のほ
か、災害時には地域の防
災リーダーとして活躍し
ていたたくもので、官公
庁OBをはじめ、自主防
災組織や町内会の役員な
ど、地域で防災活動に積
極的に取り組んでいる
方々を認定対象とするも
のである。防災マスター
の認定研修会は、道内各
地を会場に年4回ほど開
催され、参加費用の負担
もないことから、積極的
な制度活用により地域の
防災力向上を図りたい。
また、防災士について
も資格取得に向けた気運
づくりに努めたい。

長崎 当町でもこの講



防災士証

演を行ってはどうか。北
海道では年4回ほど開催
されているわけだが、こ
のNPO法人日本防災士
機構、これは確かに歴史
はそんなに長くないが、
平成16年度に1581人
だった資格取得者が、現
在では10万人を超えてお
り、防災士の必要性が求
められている。
当町でも消防士や職員
が資格を取っていると思
うが、講習会のようなも
のを公民館等で町民に対
し開催しては。

生命、財産を守るとい
う信念を持って町政にあ
たっている。
現在、長万部に防災士
は3人、防災マスターは
8人登録されているが、
これは各個人がそれぞれ
任意で資格を取得してい
る。公で養成をしたとい
うことではなく、自らが
勉強をして防災士の資格
や防災マスターの資格を
取られた。
今後、地域会館や各町
内会の自主防災組織を立
ち上げる段階での講習、
講演に力を貸していただ
ければと考えている。

— 柏倉恵里子 議員 —

認知症サポーターの育成を

(町長) 養成講座などの取り組みに
力を注いでいきたい

柏倉 長万部町で一人暮らしの元気な方が認知症になった場合、全てのサービスを使っても一人の方を守れない状況がうまれている。

例えば、認知症と診断されるまでの期間、認知症と判断され介護認定がおりるまでの期間、介護認定がおりてからサービスが開始され、施設入所までの期間、およそ1年かかる。この間、実に様々な事が起きていて、大事に至ってないので良かったのだが、身内がそばにいないので身内のように寄りそう方の存在が必要だ。私の経験からすると、一人の方に三人のサポーターが必要だ。しかも出来るだけ近くに住んでいることが望ましい。

認知症サポーターキャラバンのホームページでは、平成28年12月31日現在、長万部町に180人のサポーターがいること

になっている。活動状況が見えないし紹介されたこともない。組織として立ち上がってなければ早急に立ち上げを。また、活動出来るサポーターが必要だ。毎年、育成者を増やせるような取り組みが必要と思う。これが出れば、地域包括ケアシステムへの移行もスムーズに出来ると思う。町長の所信を伺う。

町長 少子高齢化が進み、本町においても独居高齢者や認知症高齢者が増加傾向にある。住民参加による地域づくりを通じて、地域住民の社会的孤立を防ぎ、認知症になっても可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、高齢者の生活全般を支える仕組みづくりが必要であると考えている。その基礎づくりとして、認知症について正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家

族に対して温かい目で見守る。さらには近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践していただけるような認知症サポーターを多く育成するため、サポーター養成講座などの取り組みに力を注いでいきたい。また、その中から地域を担う組織づくりやボランティア活動が進んで行くことを期待する。

柏倉 現在、長万部町で施設入所ではなく、在宅で認知症と診断をされている方は何名か。

町長 2月現在、65歳以上介護認定者が497名。うち認知症の症状のある方は234名。

柏倉 認知症発見のひとつに、金融機関やコンビニで支払い等をする時の間違いがある。今までできていた事ができなくなったたりする。そんな時に金融機関等から一報を

入れてもらい、地域包括が訪ねてみるなどの連携は取れているか。

町長 色んな関係機関に話しており、地域包括の方にも話はあると思う。

柏倉 認知症と診断されると必ず投薬が始まる。間違いなく飲むためにはサポーターが必要だ。

町長 サポーターの活動、活躍は大変なことだと認識している。色々なことを含め検討課題としたい。



認知症サポーターカード（1枚30円、送料別途）

―大谷 敏弥 議員―

これまでの質問の進捗状況と対応は

(町長) 状況に応じ取り組んでいる

大谷 これまでの質問について確認する。

1、少子化対策・子育て支援策は。

答弁、長万部町の身の丈に合った子育て支援を実施して行きたい。

2、人口減少対策として移住定住促進・企業誘致の具体的な取り組みは。答弁、1人でも多く長万部町に来ていただける

よう、企業誘致と雇用の拡大に取り組む。

3、各集会所に「手すり」の設置を。

答弁、要望を聞きながら検討する。

以上3点について、進捗状況と対応は。

町長 1点目については、平成28年度から妊産婦健診通院費の一部補助を実施し、また、町立保育所の第2子以降の保育料を無料とした。

さらに平成29年度においては、第2子以降の保育料等を民間の保育園、幼稚園にも対象を拡大し実施したい。

2点目については、搾乳などを行う農業支援員1名を新たに募集し、将

来の新規就農につながる

よう、様々な形で支援していきたい。さらに、町外の方へ求人情報を提供する手段として、町ホームページにおけるバナー

広告の掲載を開始したほか、町内の空き家情報を掲載した、おしゃまんべ家さがしウェブを随時更新するなど環境づくりに努めている。引き続き、移住者に対する建築住宅の補助のあり方について

検討し、移住定住促進に向けた取り組みを着実に進めている。

企業誘致については、母豚を千頭規模で一貫生産する長万部ちらい農場が、平成30年春の完成を目指し建設が進められて

いるほか、豊津地区にトンネル工事の現場宿舍が建設される。今年6月には鉄道運輸機構の鉄道建設所や寮が完成する予定である。来年度には新幹線駅の高架形式への変更認可が見込まれており、さらなる新幹線工事関連企業の進出が期待されることから、企業誘致と雇用の拡大に向け積極的に取り組んでいく。

3点目については、要望のあった南栄老人憩の家には昨年5月に設置し、陣屋生活館は3月中旬に設置を予定している。また、来年度も状況に応じ対応する。

大谷 ホームページの家さがしウェブ等には、何件くらい問い合わせがあったか。また、移住定住につながったか。

まちづくり新幹線課 問い合わせは9件あり、そのうち1件が移住した。

大谷 町に人を呼び込

むため、1戸だけでも町が買い上げて内装を改装し、移住定住促進に向けた取り組みとして長万部移住生活体験制度を設けては。

町長 先ほど答弁したとおり、引き続き移住者に対する建築住宅の補助について検討し、移住定住促進に向けた取り組みを着実に進めたい。

意見書を提出しました

意見書1件を原案どおり可決し、関係機関へ送付しました。

◇地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書



— 高森 功治 議員 —

長万部高等学校の将来像をどう考える

(教育長) 魅力ある学校づくりを
全面的に支援したい

高森

長万部高校は町内唯一の高校であり、長

万部や黒松内のこれからの地域づくりの主役を担う人づくりの根幹でもある。

東京理科大学の特別推薦枠まで持っているが、高校の将来が心配である。

平成29年度の長万部高校への出願者数は17名と

新聞報道にあった。長万部中学校の今春卒業予定

者は38名とのことだが、そのうち長万部高校への

出願者数は。

長万部高校の閉校の危機を含め、高校の将来像をどう捉えているか、教育長の所見を伺う。

教育長

長万部中学校からの出願者数は12名である。昨年度は、長万部

中学校卒業生の52%が長万部高校に進学したが、

今年度は31%の受験者数であった。平成18年度以降、50%を割り込んだ年

度はなかったため、大変危惧している。

長万部高校は平成28年

度から地域キャンパス校

となっている。これは、他の学校への通学が困難

な地域を抱え、かつ地元

からの進学率が高い第1学年1学級の高校を地域

キャンパス校として、セ

ンター校（八雲高校）からの出張授業や通信機器

を活用し、教育活動を支援していく制度である。

現在、長万部高校PTA・同窓会に「長万部高校の教育を地域とともに

考える会（仮称）」設立の動きがあり、長万部高校の魅力ある学校づくり

を教育委員会としても全面的に支援・推進してい

かなければならないと考えている。小中学生に長

万部高校の魅力を体感させ、進学したいと思える

ような取り組みを強化したい。

高森

今年は近隣市町

への生徒流出が多い。キャンパス校になったマイ

ナスイメーで、長万部

高校を敬遠したのでは。

また、キャンパス校指定は、今後の再編や廃校

につながるのでは。

教育長

マイナスイメーではなく、部活動や広い人間関係を求めて自宅

から通学可能な近隣市町の高校を志望している。

道教委は地元の進学率や地域性を考え、学校を

残すために地域キャンパス校制度を始めたが、人

口減少や地方創生の観点から、その在り方や教育

環境の整備を含め検証検討を進めている最中である。平成27・28年度は検

証期間中のため、募集停止や見直しはない。

高森

理科大があるの

だから、理数に特化した学科や英語に特化した学

科、または、福祉や介護の学科を高校に設けては。

教育長

道立高校のま

までの学科転換はかなり厳しく、学科変更をして



長万部高等学校

も再び普通科に戻した学校が全道的にいくつもあ

る。そして本町の子供達全員がその学科を希望するかも問題になる。入りやすい、選択しやすいということを考えれば、今の普通科の高校の学校づくりを全面的に支援したい。

高森

総合教育会議は、町長の権能のもと教育行政に関与する立場だが、

町長の考えは。

町長

長万部高校存続のために通学費補助等行ってきたが、まだ努力

が足りないと感じた。

今後は、総合教育会議

でもこの課題を取り上げ、さらに真剣に取り組んでいく。

北海道新幹線木古内駅視察調査報告書

－ まちづくり・新幹線調査特別委員会 －

平成28年11月30日（水）北海道新幹線木古内駅を視察しました。第1回定例会において報告した内容を紙面の都合上、一部抜粋して掲載いたします。

【調 査 日】平成28年11月30日（水）

【視 察 先】北海道新幹線木古内駅

【調査内容】※一部抜粋

◇北海道新幹線木古内駅周辺整備事業について

・ 駐車場整備関連

新幹線駅の北側、東側、西側に、合わせて普通車329台、大型車7台分の駐車場が整備されている。

・ 駅舎整備関連

現駅舎の改修事業を実施し、トイレ、外壁等の改修、エレベーター2基、エスカレーター2基を整備している。エスカレーターの設置には、町独自で7,000万円を負担している。

◇新幹線木古内駅を核とした広域観光の取り組みについて

開業6年前（平成22年）、渡島西部4町（木古内・知内・福島・松前）、檜山南部5町（上ノ国・江差・厚沢部・乙部・奥尻）、交通事業者、さらにオブザーバーとして北海道運輸局、北海道を加え「新幹線木古内駅活用推進協議会」を設置し、新幹線開業を機として木古内駅を中心にイメージづくり、人づくり、拠点づくり、ネットワークづくりなど広域観光の推進に取り組んでいる。

◇新幹線木古内駅誘致に係る議会としての取り組みについて

昭和63年の青函トンネル開通と同時に「総合交通体系特別委員会」を立ち上げ、新幹線停車駅の誘致に向けて国や道に積極的に不断のアプローチを続けてきた。長い経過の中で紆余曲折はあったものの、イデオロギーや利害関係の壁を乗り越え、行政・議会・町民が一体となり運動を進めてきたことが北海道新幹線木古内駅の誕生の礎となっているとのことであった。

議会としての意見反映は、町民の代表者で構成される「まちづくり戦略会議」で議論され、ある程度まとまった段階で委員会へ報告をもらうこととし、最終的には議会の意見も加えたものが戦略プランとして町長に答申されたものと考えているとのことであった。

【ま と め】

これまで駅施設や周辺整備事業など参考事例を視察してきたが、今後はそれを計画に活かすべく実際の費用や財源などについても調査する必要があると考える。

いずれにしても、木古内町でも話を伺ったが、行政・議会そして町民がそれぞれの立場で協力し合い、町全体が一丸となって新幹線を核としたまちづくりに向け邁進することが肝要である。そのためにも本特別委員会としてさらなる調査・研究が必要である。



木古内駅南側

常任委員、議会運営委員が改選されました

常任委員、議会運営委員の任期は2年と定められており、このたび任期満了につき改選が行われ、委員長・副委員長が次のとおり決定しました。

《総務常任委員会》
委員長 角 健
副委員長 村川 毅

《産業建設常任委員会》
委員長 長崎 厚
副委員長 橋本 収司

《議会運営委員会》
委員長 高森 功治
副委員長 辻 紀樹

● 議員の出席簿 ●

平成29年1月～平成29年3月

会 議 名	開催日	1 北 川	2 長 崎	3 辻 (紀)	4 高 森	5 橋 本	6 大 谷	7 村 川	8 角	9 柏 倉	10 辻 (義)
第 1 回 定 例 会	3月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 1 回 臨 時 会	1月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 会 運 営 委 員 会	1月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全 員 協 議 会	1月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2月2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総 務 常 任 委 員 会	1月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産 業 建 設 常 任 委 員 会	2月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	3月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 会 広 報 編 集 特 別 委 員 会	1月16日	-	-	○	○	-	-	○	○	-	-
	3月14日	-	-	○	○	-	-	○	○	-	○
ま ち づ く り ・ 新 幹 線 調 査 特 別 委 員 会	2月21日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 会 改 革 等 に 関 す る 調 査 特 別 委 員 会	1月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山越郡衛生処理組合議会	3月22日	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-
渡島廃棄物処理広域連合議会	2月9日	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-

○（出席） ×（欠席） -（出席対象外）

所管事務調査

（委員会が受け持っている調査内容）

第2回定例会（6月）までの各常任委員会、議会運営委員会の所管事務等調査事項は次のとおりです。

《総 務 常 任 委 員 会》 環境衛生事業
《産 業 建 設 常 任 委 員 会》 土木事業、農業振興、水産振興
《議 会 運 営 委 員 会》 議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項



産業建設常任委員会

2月28日

- ①除雪事業
町道等冬季維持管理業務委託について調査
- ②農業振興
公共牧場利用状況について調査
- ③水産振興
水揚げ状況について調査

3月9日

- ①委員長、副委員長の互選
- ②所管事務調査
第2回定例会までの所管事務調査を協議

まちづくり・新幹線 調査特別委員会

2月21日

- ①まちづくり・新幹線等に関する調査
北海道新幹線長万部地区の構造変更、
長万部まちづくり推進会議の活動状況について調査、視察調査報告書
(案)について協議

3月14日

- ①まちづくり・新幹線等に関する調査
新幹線駅周辺整備計画(案)について調査

議会運営委員会

1月27日

- ①第1回臨時会の運営について協議

3月6日

- ①第1回定例会の会期及び日程、提出される議案などの取扱いについて協議

3月9日

- ①委員長、副委員長の互選
- ②所管事務調査
第2回定例会までの所管事務調査を協議

3月14日

- ①第1回定例会の運営について協議

3月15日

- ①第1回定例会の運営について協議



委員会活動

総務常任委員会

1月30日

- ①社会教育事業
図書利用状況、図書館事業内容について調査

3月6日

- ①保健福祉事業
町立保育所の運営状況について調査
- ②公共下水道事業
下水道事業経営戦略について調査
- ③病院事業
新公立病院改革プランについて調査

3月9日

- ①委員長、副委員長の互選
- ②所管事務調査
第2回定例会までの所管事務調査を協議

議会改革等に関する 調査特別委員会

1月27日

- ①議会改革等に関する調査
本会議・委員会の欠席事由、答弁書の
検討時間、議場・委員会室へのパ
ソコン等の持込みについて協議

2月27日

- ①議会改革等に関する調査
これからの検討事項について協議

3月17日

- ①議会改革等に関する調査
浦幌町議会の取り組みについて協議

議会広報編集特別委員会

1月16日

- ①議会だより第190号を編集

3月14日

- ①議会だより第191号の編集について協議

議会のうごき

1月

5日 消防出初式 各議員
6日 新年交礼会 各議員
8日 成人式 各議員
30日 第1回臨時会 全議員

2月

8日 北海道新幹線建設促進自治体議長
会中央要望（東京） 議長
16日 渡島町村議会議長会定期総会
（函館市） 議長
長万部町建設協会新年会 副議長
17日 長万部商工会新年懇親会 議長
22日 東京理科大学退寮パーティ 議長

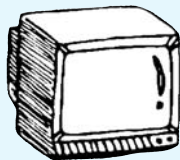
23日 東京理科大学退寮式 議長
25日 老人クラブ連合会芸能祭 産建委員長

3月

1日 長万部高等学校卒業式 各議員
4日 自民党長万部支部定期大会 議長
9日 第1回定例会 全議員
14日 第1回定例会 全議員
16日 長万部中学校卒業式 各議員
17日 長万部小学校卒業式 各議員
第1回定例会 全議員
27日 青少年問題協議会 議長

議場のテレビ放映

役場1階ロビーで定例会、臨時会の模様を放映しています。



議会を傍聴してみませんか

次の定例会は6月です



この広報紙は再生紙を使っています。

お願い

議長宛ての案内などの文書は、議会議務局へ送付ください。

委員会も署名するだけで傍聴することができます



長い冬も終
わり、長万部
町にも桜が咲
く穏やかな季
節となりました。

早いもので町議会議員選挙から2年が経過し、この間、議会改革に積極的に取り組み、長年採用されてきた会派制度を解消しました。また、総務常任委員会、産業建設常任委員会の委員定数を変更し、全議員が各種事業の進捗状況や課題等について取り組んでいます。さらに、新年度予算は適切に計上されているか、決算は適正に支出されているか全議員で勉強会も行っています。

今後、さらに開かれた議会を目指し、各議員が協力して議会改革に取り組む、町民の負託に応えてまいりたいと思います。

議会広報編集特別委員会

委員長 高森 功治

副委員長 辻 紀樹

委員 村川 健

角 健